

灯 た 良 沖 洗 目 噺 春禽となる鳴き合うてゐるうちに 海 H 白 笙 降 不思議さを聞かされてゐる海鼠かな や春背 ちまちに鷹の きことは 鳴 芹の濯ぎあげられ根 るほどに白き翳積む 真 台 契のやうに陽のある野水 顔 交 0) 身 の野へ蜂蜜色のノブを押す 0) して鳩となるチェロ二重 ŋ 0) 自 や 古 K 角風雨の強さもて太し 吹きをれ 0) 笛炭火に炙 を鏡に容 0) P す 魚 逆さ移 や京 夜 太 叡 遠 は 泡 るり二月の 伸 乾鮭反りを深く 蜜よ 鳴る ゆ やや大袈裟に古 山 0) び づら 洋 ょ をすれ 弾 据 り 甘 ŋ ば 集ふや天まほら ŋ を 力 ズ n る むと春 届 初夢の甦り をときに ろ て初 寒 炉 ŋ く 五 Þ し り 上 ぐ Þ ば 羽 明 0) 初 光る 織脱 うな 0) 色 神 せ 白 0) 日 古 る 記 豆 海 ζ, る 奏 仙 き 雪 ŋ 七田 富川 栗坪 大矢 内山 甲州 大畑 広渡 峰崎 枇杷木 愛 川高郷之助 須賀ゆかり 塩野谷慎吾 三好千衣子 矢崎すみ子 能美昌二郎 本池美佐子 平松うさぎ 大川ゆかり 髙橋あさの 千草 文子 照久 敬雄 善昭 成規 明子 惠

脈

匿

まうてやろ

か追儺の

0)

鬼

栗原

公子

つや水平

は

コップに

林

昭太郎

両

国に江

戸

残り香牡

頓所

友枝

切

同

心

円

12

立

辻

美奈子

百里

きのふより遠くを見れば春立ちぬ





